

しょどん
諸鈍シバヤ(芝居)

加計呂麻島 (かけろまじま)



【場所】鹿児島県瀬戸内町
諸鈍・大屯神社(しょどん・お
おちよんじんじゃ)



島の人口:1,547人
島の面積:77.15 km²
(平成17年国調)

大島海峡を挟んで奄美大島南岸と向かい合う位置にある加計呂麻島。「諸鈍シバヤ」は、諸鈍集落に残る踊り・村芝居で、平家の落人・平資盛が土地の人を招いて上演したのが始まりと言われています。一時中断した時期があったものの約800年も続く伝統芸能で、毎年旧暦9月9日に平資盛が祀られている大屯神社で上演されます。踊り手たちは諸鈍集落の住民で男性のみ、子ども達も参加して、紙のお面に陣笠風の笠をかぶり、囃子と三味線の伴奏によって演じます。かつて20種余りあったという演目は、現在11演目が受け継がれています。演目の中には、猪を倒す勇壮なものやひょうきんな仕草で観客を笑わせたりするものもあり、毎年多くの観客が全国から訪れます。

写真左：諸鈍シバヤの踊り手と観客

写真右：諸鈍シバヤを演じる踊り手たち

問い合わせ先：国土交通省都市・地域整備局離島振興課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

TEL 代表 03-5253-8111(内 33-144) 直通 03-5253-8421